

## 「認知症に対する理解について」に関するアンケートの実施報告について

「認知症に対する理解について」に関するアンケートの実施結果を下記のとおりご報告いたします。

アンケートにご協力いただきましたe-モニターの皆様に厚くお礼を申し上げます。

なお、アンケートの内容及び回答集計については、e-モニターのホームページ（下記リンク先）をご覧ください。

<http://www.e-kocho.pref.mie.jp/monitor/index.html?a=top:result&id=60>

### アンケート概要

#### アンケート実施期間

平成21年8月25日から平成21年9月15日まで

#### 意見募集の結果

対象者数 1,505名

回答者数 1,144名

回答率 76%

#### 回答者属性

性別 【男性】613人 53.6% 【女性】531人 46.4%

#### 年代別

【20代】	【30代】	【40代】	【50代】	【60代】	【70代以上】
142名	268名	278名	239名	155名	62名
12.4%	23.4%	24.3%	20.9%	13.5%	5.4%

## アンケート結果について

### Q 1について

Q 1で認知症についてご存知かどうかをお聞きしたところ、「知っている」と答えた方が98.8%にのびりました。

### Q 2について

Q 2で認知症を病気だと思うかどうかをお聞きしたところ、「病気だと思う」と答えた方が71.8%と多数を占め、ついで「どちらとも言えない」が17%、「病気だとは思わない」が9.3%、「分からない」が2%という結果になりました。

昨年度のアンケートの結果では、「病気だと思う」と答えた方は66.8%でしたので、認知症は病気であるという認識が少し高くなっています。

### Q 3について

Q 3で認知症の人が偏見を持ってみられる傾向にあるかどうかをお聞きしたところ、「あると思う」、「どちらかといえばあると思う」と答えた方が83.3%で、「ないと思う」、「どちらかといえばないと思う」と答えた方の13.9%を大きく上回りました。「分からない」と答えた方は2%でした。

昨年度のアンケートの結果では、「あると思う」、「どちらかといえばあると思う」と答えた方が82.7%、「ないと思う」、「どちらかといえばないと思う」と答えた方は12.9%でしたので、ほとんど変化は見られませんでした。

### Q 4について

Q 4で自身や家族について、認知症に対する不安や心配があるかどうかをお聞きしたところ、「ある」、「どちらかといえばある」と答えた方は87.9%、「ない」、「どちらかといえばない」と答えた方が8.8%、「分からない」と答えた方が3.3%となりました。昨年度のアンケートでも83.3%の方が「ある」、「どちらかといえばある」と回答しており、認知症に対する高い不安感が明らかになっています。

### Q 5について

Q 5で予防できる認知症があることについてご存知かどうかをお聞きしたところ、「よく知っている」、「ある程度知っている」と答えた方が34.3%で、「全く知らない」、「聞いたことはあるがあまり知らない」と答えた方が65.7%となりました。

昨年度のアンケートの結果では、「よく知っている」、「ある程度知っている」と答えた方が29.5%で、「全く知らない」、「聞いたことはあるがあまり知らない」と答えた方は70.5%でした。

### Q 6について

Q 6で治る認知症があることについてご存知かどうかをお聞きしたところ、「よ

く知っている」、「ある程度知っている」と答えた方が 24.7%で、「全く知らない」、「聞いたことはあるがあまり知らない」と答えた方は 75.3%となりました。

昨年度のアンケートの結果では、「よく知っている」、「ある程度知っている」と答えた方は 22.6%、「全く知らない」、「聞いたことはあるがあまり知らない」と答えた方は 77.3%でしたので、昨年度の結果と比較しほとんど変化は見られませんでした。

#### Q 7について

Q 7で、「三重県認知症コールセンター」についてご存知かどうかお聞きしたところ、「よく知っている」、「ある程度知っている」と答えた方が 3.2%で、「全く知らない」、「聞いたことはあるがあまり知らない」と答えた方の 96.8%を大きく下回り、ほとんど知られていないことが分かりました。

認知症コールセンターでは、認知症に関する様々な悩みや相談を、認知症の介護経験者等が集まる社団法人「認知症の人と家族の会三重県支部」のコールセンタースタッフがお聴きしています。必要と判断した場合は医療機関の受診や介護サービスの利用のアドバイスをします。

**電話番号 059-235-4165 (よいろうご)**

**開設時間 月～金 9時30分～17時30分**

**※祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は除く**

認知症の介護に悩むご家族の方、認知症の方本人等が気軽に相談していただけるよう、県はコールセンターの周知を図っていきます。

#### Q 8について

Q 8で、認知症の専門医療機関である「認知症疾患医療センター」についてご存知かどうかお聞きしたところ、「よく知っている」、「ある程度知っている」と答えた方が 5%で、「全く知らない」「聞いたことはあるがあまり知らない」と答えた方の 95%を大きく下回りました。

「認知症疾患医療センター」は、「老人性認知症センター」の専門医療機関としての機能及び地域連携機能を強化し、平成 21 年 4 月 1 日に「老人性認知症センター」を改組して設置したのですが、ほとんど知られていないという結果になりました。

県は、認知症疾患医療センターを 3 箇所指定しています。詳しくは三重県ホームページ (<http://www.pref.mie.jp/CHOJUS/HP/ninchisho/kana.htm#04>) をご覧ください。

#### Q 9について

Q 9で、認知症に関する相談先についてお聞きしたところ、上位回答には「医療機関」(30.1%)、次いで、「家族又は親族」(29.2%)、「知人・友人」(13.2%)が挙がりました。

なお、自由記述では、インターネット、ケアマネジャーといった回答を複数

いただきました。

ただ、インターネット上には、様々な情報があふれており、正しい情報ばかりとは限りません。県では、認知症に関する相談先の情報を認知症サポーター養成講座やホームページ等を通じ、ご案内しています。

相談窓口等については、こちらをご覧ください

<http://www.pref.mie.jp/CHOJUS/HP/ninchisho/kana.htm>

#### Q10について

Q10で「認知症サポーター（認知症について正しい理解を持ち、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者）」についてご存知かどうかお聞きしたところ、「よく知っている」、「ある程度知っている」と答えた方が10.5%、「聞いたことはあるがあまり知らない」、「全く知らない」と答えた方は89.5%でした。

昨年度のアンケートの結果では、「よく知っている」、「ある程度知っている」と答えた方は4.8%、「聞いたことはあるがあまり知らない」、「全く知らない」と答えた方は95.2%でしたので、認知症サポーターに対する認知度は多少上がったと感じています。

#### Q11について

Q11で「認知症サポーター養成講座」への参加意欲についてお聞きしたところ、「受講したい」、「どちらかといえば受講したい」と答えた方が43.2%、「受講したくない」、「どちらかといえば受講したくない」と答えた方は23.4%でした。

昨年度のアンケート結果では「受講したい」、「どちらかといえば受講したい」と答えた方は39.9%、「受講したくない」、「どちらかといえば受講したくない」と答えた方は24%で、あまり大きな変化は見られませんでした。

#### Q12について

Q12で認知症対策に取り組む企業への印象についてお聞きしたところ、「良い印象を持つ」、「どちらかといえば良い印象を持つ」と答えた方が85.2%、「特に感じない」、「どちらかといえば悪い印象を持つ」、「悪い印象を持つ」、「分からない」、「その他」と答えた14.7%を大きく上回りました。

また、自由記述では、「認知症対策に取り組む企業を知らない」という回答もいただきました。

県では、高齢者の日常生活に直結する生活関連企業等（スーパー、金融機関等）の従業員を対象に、「認知症サポーター養成講座」を実施しています。地域で働く人々の理解が、認知症の方が地域で暮らしていく大きな支えになります。

こうした取り組みを通じ、認知症の方やその家族等を見守り、支える力を地域で高め、「認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくり」を進めたいと考えています。

### Q13について

Q13で運転免許更新時における講習予備検査（認知機能検査）についてご存知かどうかお聞きしたところ、「よく知っている」、「ある程度知っている」と答えた方が70.6%で、「全く知らない」、「聞いたことはあるがあまり知らない」と答えた方の29.5%を大きく上回りました。

平成21年度6月から、本検査が義務付けられたことから、認知度は昨年のアンケート結果と比較すると高くなっています。（昨年度のアンケート結果：「よく知っている」、「ある程度知っている」と答えた方：35.6%、「全く知らない」、「聞いたことはあるがあまり知らない」と答えた方：64.4%）

### Q14

Q14で、最も重点を置くべき認知症対策についてお聞きしたところ、上位回答は「認知症予防（普及啓発、予防への取り組み）」（13.5%）、「認知症の早期発見への取り組み」（12.9%）、「認知症の方や家族に対する相談支援体制の充実」（10.8%）、「認知症専門医療を担う医療機関の整備」（10.2%）ですが、各選択肢毎に特に大きな差はみられませんでした。

自由記述では、「成年後見制度の利用推進」や、「認知症を社会全体で受け入れる体制作り」、「認知症の人への経済的支援が必要」といった意見や、選択肢の項目全てが重要といった回答もいただきました。

## まとめ

今回のアンケートでは、県が取り組んでいる認知症対策が、昨年度実施したアンケートの結果と比較し、県民の皆さんにどこまで浸透しているか、また認知症や認知症対策への認知度をお聞きしました。

75歳以上の高齢者の増加に伴い、認知症の方の増加が懸念され、アンケートの結果からも分かるとおり、皆さんの認知症に対する不安は大きいです。三重県では、認知症の予防を重視し、本人や家族、かかりつけ医等の気づきを早期の確定診断につなげることを出発点として、的確かつ包括的な療養方針を策定し、医療と介護の密接な連携の下に適切なサービスを提供していきます。

また、認知症サポーター養成講座の普及に努め、地域で認知症の人やその家族を見守る取り組みの拡大を図り、相談支援体制を充実します。

そして、これらの取り組みを、皆さんにご活用いただけるよう、情報提供に努めていきます。

最後になりましたが、e-モニターアンケートにお答えいただきました皆さまには、あらためてお礼を申し上げます。今後とも、高齢者施策の推進にご協力をいただきますようお願い申し上げます。